

福島第一原子力発電所現地確認報告書

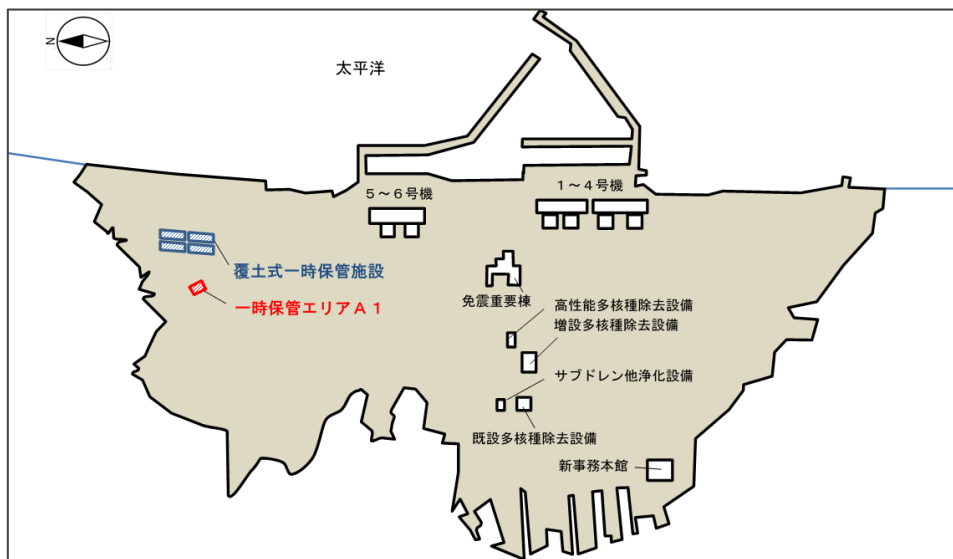
- 1 確認日
令和3年6月28日（月）
- 2 確認箇所
瓦礫類一時保管エリアA1
- 3 確認項目
瓦礫類一時保管エリアA1整備工事の状況

4 確認結果の概要

東日本大震災以降、30mSv/h以下の瓦礫類を一時保管するためのエリアとして運用されていた瓦礫類一時保管エリアA1（以下「一時保管エリアA1」という。）は低線量率の瓦礫類を保管するためのエリアに転用が予定されている。同エリアに保管されていた瓦礫類については隣接する覆土式一時保管施設等へ移送が完了し、同エリアを覆っていたテントを解体する作業が開始されたことから状況を確認した。（前回確認：[令和2年8月24日](#)）

（図1、写真1）

- ・現場では、明日（6月29日）からのテント解体作業に向けて、連続ダストモニタ設置等の準備作業が実施されていた。（写真2）
- ・東京電力によると、テント解体作業にあたっては、事前にダストの飛散防止剤を散布することに加え、作業中は連続ダストモニタにより常時監視を行い、万が一、ダスト濃度が規定値以上になった場合は作業を中止し、散水によるダスト飛散防止対策を実施するとのことである。



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
一時保管エリアA1の外観
(エリア南西側から撮影)



(写真1-2)
一時保管エリアA1のテント内部の
状況



(写真2)
設置作業中の連続ダストモニタ

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。